

成果指標				
成果指標	活動実績の達成率(実績/計画×100)			
指標設定の考え方	特別支援教育のより効果的な執行に資するため調整された各事業計画と実績(進捗)の比較を、各々達成指標として累乗する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%	100%	100%	0
実績	100%	100%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本事業の実施により特別な教育的支援の必要な園児・児童・生徒とその保護者、また教員等に対する支援を図ることができている。引き続きの事業実施が必要であるが、人材の確保が課題である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	特別支援教育については、充実した取り組みが出来ていると思う。「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が平成28年4月1日より施行されることを踏まえて、保護者と子どもたちの気持ちに充分な配慮を一層出来るよう教職員への研修や人員の確保に努めなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題